

就農成功ヒント考える

中区セミナーに新規者ら50人

浜松市内の農業者でつくる市認定農業者協議会の中央、西の両支部はこのほど、就農応援セミナーを中区の市

域情報センターで開いた。市内で5年以上の経験がある農業者5人が「就農で成功するためのヒントを考え



就農について語る農業者
＝浜松市中区の地域情報センター

る」と題し、需要の把握や生産性維持の大切さなどについて語り合った。新規就農者ら約50人が聞き入った。

南区や西区でレタスやキャベツなどを生産している大西辰幸さん(40)は「ただ作るだけでなく、顧客ともよく話し合い、消費者のどんなニーズがあるのかつかむようにしている」と話した。東区で葉ネギを扱う大橋俊之さん(51)は「年間を通じて安定して生産できるようにすることが重要」と主張した。

西区館山寺町のガーベラ農家鈴木誠さん(57)は就農したばかり

のころ、軽トラックを見かけるたびに頭を下げたと振り返り、農業者同士や地域との交流を積極的に図るよう呼び掛けた。

(浜松総局・松浦直希)